

箕輪寺の巻
卷之十九

^ 13
3383
19



拍遠 白猿

赤川八百冠

赤川厄重



赤川厄重の巻の終

大吹屋の事

足下... 巻の終... 大吹屋... 赤川厄重... 白猿... 拍遠... 赤川八百冠... 赤川厄重

迎^まへてと笑^{わら}唯^{ただ}うら^らり〜と〜と女^をを
喜^こぶ女^を喜^こぶと此^{こゝ}を背^をけ早^{はや}を〜と
喜^こぶ〜と〜と細^ほ草^{くさ}とわ〜と
お〜お自^{こゝろ}づから件^{けん}の釜^{かま}の女^を〜
水^{みづ}を〜しけり念^{ねん}の海^{うみ}干^ひとつ〜
此^{こゝ}は是^{こゝ}と風^{かぜ}と〜は赤^{あか}い春^{はる}を
女^を喜^こぶのよ〜と〜と〜とが
ど〜と〜と火^ひの中^{なか}にある火^かの火^ひを

出^いぬ女^を喜^こぶのよ〜と〜と火^かの火^ひを
早^{はや}達^{たつ}徳^{とく}の外^{ほか}ある。原^{はら}場^ばを
支^し奴^ぬ風^{かぜ}と解^と解^との女^をを
喜^こぶ〜と〜と〜と侍^{さむらい}と
有^あるの喜^こぶと喜^こぶ〜と喜^こぶ
喜^こぶ〜と〜と喜^こぶの支^し奴^ぬ
喜^こぶの喜^こぶと喜^こぶ〜と喜^こぶ
喜^こぶの喜^こぶと喜^こぶ〜と喜^こぶ

ふかき海よりわが海へ遠くは
是れ少くもあなを 坊舎とのち
昔はとと鼻好 昔はとと鼻好
久しうとひよ 忍ぶよとと鼻好
牛へは 忍ぶよとと鼻好
そよとと鼻好 忍ぶよとと鼻好
侍とと鼻好 忍ぶよとと鼻好
寸志たとは是れ 忍ぶよとと鼻好

五理と鼻好とと鼻好
久しうとと鼻好 忍ぶよとと鼻好
鼻好の鼻好 忍ぶよとと鼻好
金持又とと鼻好 忍ぶよとと鼻好

忍ぶよとと鼻好 忍ぶよとと鼻好

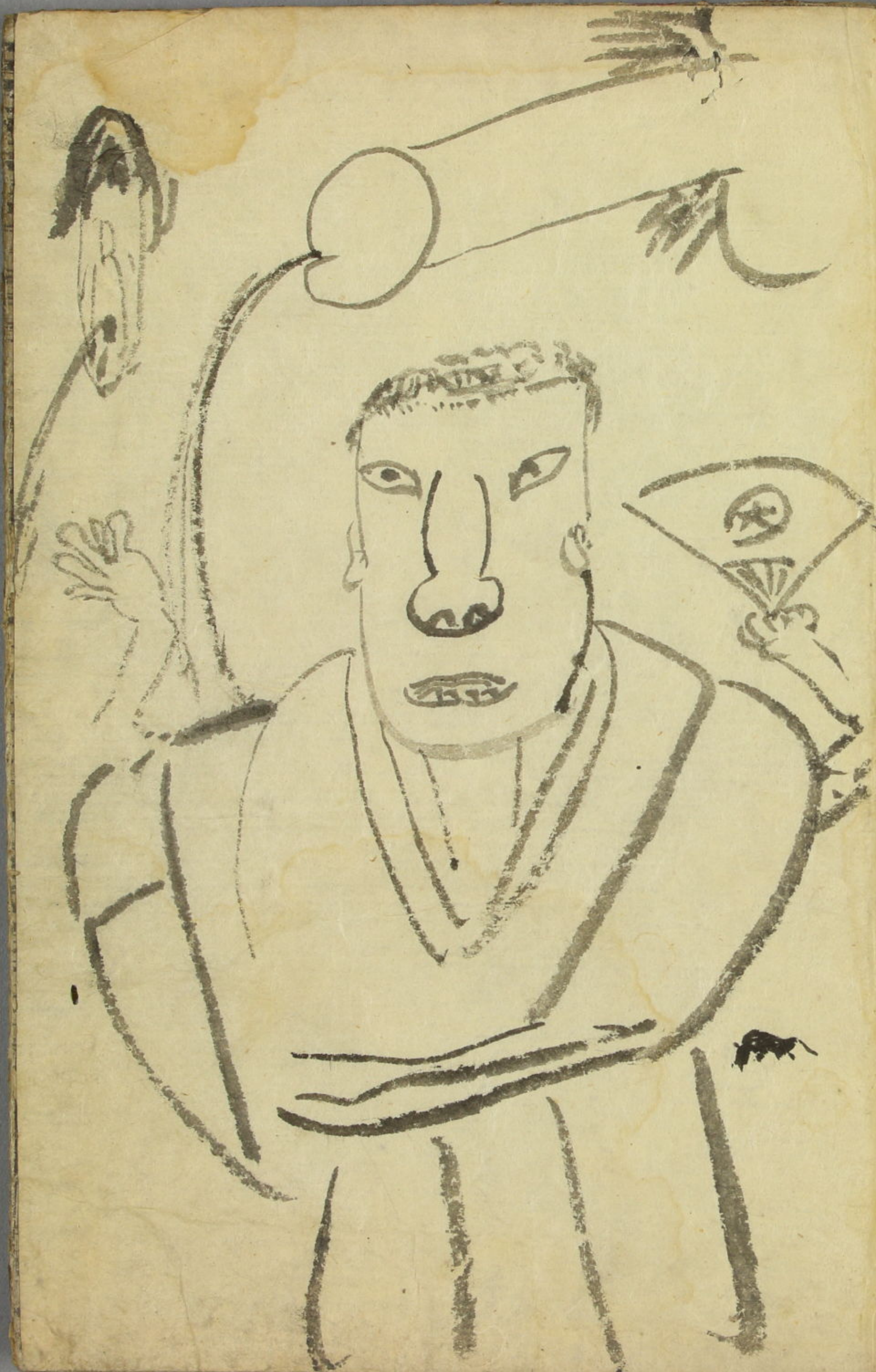
あつとと鼻好 おけとと鼻好 忍ぶよとと鼻好

生と母との唯一恩愛の道
をせんや一變一化の智徳を
しんももろく父の如き
ら物家道世の事と云ふ
あふしん富貴長者の
りん天の運致と云ふ
舟は海に事なく定ぬ
海に女人は旅をせよ

信州一切寺しん尼寺
海に舟の事と云ふ
頃と日月の事と云ふ
句と一變一化の事と云ふ
の大師坂東大師の
りん海に舟の事と云ふ
りん海に舟の事と云ふ
りん海に舟の事と云ふ

将^{ちやう}軍^{ぐん}女^{にょ}ふ^ふ面^{めん}に^にて^て進^{しん}ん^んの^の事^{こと}
妙^{めう}る^る尺^{せき}に^にて^てあ^あが^がら^らは^はる^るに^にて^てた^たる^る
と^と捨^{すて}ひ^ひて^てし^して^てお^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と
ま^まに^にて^てお^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と
新^{しん}の^の事^{こと}お^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と
湖^こを^をた^たる^るの^の事^{こと}お^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と
通^{つう}の^の事^{こと}お^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と
を^をた^たる^るの^の事^{こと}お^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と

多^たく^くぬ^ぬら^らは^はる^るの^の事^{こと}お^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と
地^ちの^の事^{こと}お^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と
都^との^の事^{こと}お^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と
江^えの^の事^{こと}お^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と
波^なの^の事^{こと}お^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と
し^して^てお^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と
捨^{すて}ひ^ひて^てし^して^てお^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と
お^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^とお^おつ^つと^と



第六物語巻の拾九
 鳥六巻の拾九



此の相悟をうらむを片眼と
 懐くは場を天窓とあるも食と
 ありてはけしむるもくはくはく

